

平成22年度事業報告書

平成23年2月1日から平成23年3月31日

II. 教育、スポーツ、文化活動事業

教育、スポーツ、文化活動事業とは、教育、スポーツ、文化活動を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業である。

1. 教育関係事業

教育関係事業とは、当財団が主催する文化的教室などを通して、市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を育成する。

2. 文化教育等団体への助成事業

文化教育等団体への助成事業とは、文化、教育、スポーツ活動を行う団体への助成活動を通じて、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

(1) チビッコソフトボール大会助成

(2) 体育協会その他団体助成

体育協会その他団体への助成とは、一般社会において、法人・団体・組合などで組織活動を行う場合は、組織の範囲内で活動・運営することが当然であるが、新規事業を行う場合等に、資金不足に陥る事がある。そこで、外部からの援助を行う事により、活動が広がり社会貢献に繋がっていく。

<当期の活動状況>

嵯峨御流華道舞鶴司所創立70周年記念華展

開催日時	平成23年3月5日(土)・3月6日(日)
開催場所	西駅交流センター
目的	「生け花で守り育てるふるさとの景色」をテーマに伝統文化である華道を、次の世代につなげる礎としたい。
助成	記念華展に使用する花器(つぼ)
出展数	会員 70名 指導している華道クラブ小学校・中学校・高専生 50名
来場者数	約1000名

(3) 教育機関への助成事業

(ア) 海上保安学校助成

海上保安学校助成とは、日本でただ一つの海上保安学校は舞鶴の誇りであり、海国日本の海上交通安全や、海上警備のために、大きな役割を果たす海上保安官を養成している。この重要任務を担われている海上保安学校に対して、地元から声援を送りたいと、不足している図書・教材・楽器などの教育備品拡充の支援を実施している。

<贈呈式>

日時 平成23年3月17日(木) 11:00~11:20

場所 海上保安学校 公室

出席者(敬称略) 海上保安学校 学校長、副校長、事務部長、教育
訓練部長、総務課長、図書課長、
一般教育教官

(財)舞鶴文化教育財団 理事長・理事

目録	打楽器	一式
	ポケットレコーダー	一台
	管楽器消耗品	一式
	吹奏楽譜	一式
	図書・DVDソフト	一式

3. スポーツ活動事業

スポーツ活動事業とは、チアリーダー活動などを行うことにより、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

(1) チアリーダー活動

チアリーダー活動とは、「笑顔・元気・相手を思いやる」チアスピリッツを通して、生徒・児童の心身の健全な発達に寄与し、イベント等に出演して応援することにより、地域社会に貢献する。

メンバーの対象	幼児・児童・生徒
チーム名	「チェリーズ」
クラス	①ミニチェリーズ ②チェリーズC ③チェリーズA・B
指導員	(社)日本チアリーダー協会認定指導者 Class II 資格者
費用	月額
	ミニチェリーズ・チェリーズC 2000円
	チェリーズA・B 3500円

<当期の活動状況>

練習	毎週火曜日	午後4時から午後5時まで
	毎週火曜日	午後5時15分から午後8時まで
	毎週木曜日	午後6時15分から午後9時まで
	毎週土曜日	午前9時から午前12時まで又は午後1時15分から午後5時まで
場所	舞鶴東体育館・舞鶴文化公園体育館・舞鶴市立倉梯第二小学校・東公民館・舞鶴総合文化会館小ホールなど	
2ヶ月間開催回数	約	33回
延べ参加人数	約	546人

平成23年3月19日(土)

壮行会

舞鶴文化公園体育館

平成23年3月21日(月)

第17回西日本チアリーディング選手権大会ジュニア
スターにチェリーズAB合同チーム出場
技能賞受賞

(2) 体育振興事業

体育振興事業とは、身体を動かすことによって、市民の心身の健全な発達に寄与する。チームで活動することにより、相手を思いやる気持ちを育てる。

<健康体操教室の開催>

指導員 日本健康体操連盟健康体操指導士 資格者

開催日 毎月5回(各老人ホームで月1回実施する)

場所 特別養護老人ホーム安寿苑とデイサービス

特別養護老人ホームグリーンプラザ博愛苑と老人マンション

舞鶴市立安岡園

参加人数 各教室で約10名

<チアリーディング教室の開催>

指導員 (社)日本チアリーディング協会認定指導者 Class II 資格者

開催日 毎月2回

場所 学校法人京都荒巻学園みつる幼稚園

参加人数 年中児 約40名

Ⅲ. 文化財保護事業

文化財保護事業とは、舞鶴市に係わる文化財の保護事業を通して、文化の発展に寄与する。

<神崎ホフマン窯保存活用事業>

現在、ホフマン窯は日本に4箇所残っているだけであり、神崎ホフマン窯は国の登録文化財に登録されており、また、数年前「建造物の近代化に貢献した赤煉瓦生産の歩みを物語る近代化産業遺産」として、認定された。この様に全国的にも貴重な近代化遺産、神崎ホフマン窯を保存し、後世に引き継いでいきたい。

第3回ホフマン窯会議

開催日時 平成23年2月17日(木) 午後1時30分～午後3時30分

場所 舞鶴市字神崎(神崎ホフマン窯所在地)

参加人数 14人

IV. 国際交流事業

国際交流関係事業とは、外国の風土や文化を理解することにより、国際感覚を養い、外国人・留学生など、地域で生活している人が増えている現状の中で、外国人と市民が直接、交流できる場を提供する。

(1) 発展途上国への学校設立基金助成

発展途上国への学校設立基金助成とは、理事会のなかで、国際化時代に即して発展途上国への教育助成を行ってはどうかという意見が、以前から出されていた。そんな中で国際交流関係事業を通して「特定非営利活動法人ネパール・ムスタン地域開発協力会(MD S A)」との出会いがあった。MD S Aでは、舞鶴市や綾部市の市民も活動に参加していて、ネパール・ムスタンの現状を知ることになった。学校・附属施設設立及び増改築に関して援助を行ってきたが、9月19日の「特定非営利活動法人ネパール・ムスタン地域開発協力会 (MD S A)」の総会で、来年度の現地活動を支える資金の見通しが見つからないという現状が明確にされ、平成23年6月をもって、解散するという決定がなされた。「特定非営利活動法人ネパール・ムスタン地域開発協力会 (MD S A)」は、ネパール、その中でも貧しい地域である、アッパームスタンの学校建設、農場建設及び経営などを、現地の人々をサポートしながら、20年間に亘り活動されてきたので、残念である。

<当期の活動状況>

助成金対象先	特定非営利活動法人ネパール・ムスタン地域開発協力会(MD S A)
助成先選定方法	理事会にて決定
助成金額	約120万円
助成目的	ネパール・ムスタンの学校果樹園建設目的であったが、現地の事情により、学校キノコ園の助成をする。

(2) 国際児童画展の開催

言葉では表せないものが、絵には自然と表れるので、絵を描いたり、見ることによって、自分の町を知り、また他国の違い、共通点を見つけて視野を広げて欲しい。日本・韓国・ネパール・中国・フィリピン・インドの6カ国の子供の絵画、各国のおもちゃを展示。

開催日	3月12日(土)～3月13日(日)
開催場所	「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	絵画96点(日本・フィリピン・中国・韓国・ネパール・インド) おもちゃ約30点(日本・フィリピン・韓国・インド)
絵画の集め方	過去に集めた外国の絵画と舞鶴市内の幼稚園に依頼して展示する。
おもちゃの集め方	過去に集めた外国のおもちゃと新たに集めたおもちゃを展示する。
来場者数	1876人
来場対象者	幼児からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内	各新聞社にFAXを送信する・出展依頼をした幼稚園の保護者に案内文を出す。

(3) 第9回まいつる留学生交流会

舞鶴市及び近郊の留学生と舞鶴市内の学生との交流の場を提供し、お互いの文化・個性に触れることによって、心豊かな国際人を育て、個性を深める。

開催日	2月6日(日)
開催場所	南公民館(会議室・料理室)
内容	座談会 尙東月堂店主、森口氏指導による和菓子作り
参加者人数	14名
参加者	国立舞鶴工業高等専門学校・京都府立東舞鶴高等学校・ 海上保安学校の生徒及び教諭
参加料	無料
募集方法	各学校で参加募集をかけてもらう。
開催案内	各学校長、財団理事に案内を送る・各新聞社にFAX送信する。